

| 庁舎整備の基本方針               | 実現に向けた基本的機能    | 市民<br>部会 | 施設<br>環境<br>部会 | 周辺<br>施設<br>部会 |
|-------------------------|----------------|----------|----------------|----------------|
| 1.市民を支える、安全安心な庁舎づくり     | (1) 防災拠点としての機能 |          | ○              |                |
|                         | (2) 危機管理機能     |          | ○              |                |
|                         | (3) セキュリティ対策   |          | ○              |                |
| 2.人にやさしく、便利で快適な庁舎づくり    | (1) ユニバーサルデザイン | ○        |                |                |
|                         | (2) プライバシー配慮   | ○        |                |                |
|                         | (3) 市民利便機能     | ○        |                |                |
| 3.機能的で使いやすく、経済的な庁舎づくり   | (1) 窓口・駐車場の利便性 | ○        |                |                |
|                         | (2) 執務空間などの機能性 |          | ○              |                |
|                         | (3) 柔軟性・経済性    |          | ○              |                |
| 4.まちづくりに貢献する、環境配慮の庁舎づくり | (1) 開かれた庁舎     |          | (○)            | ○              |
|                         | (2) 省エネルギー・省資源 |          |                | ○              |
|                         | (3) 周辺環境・景観配慮  |          |                | ○              |

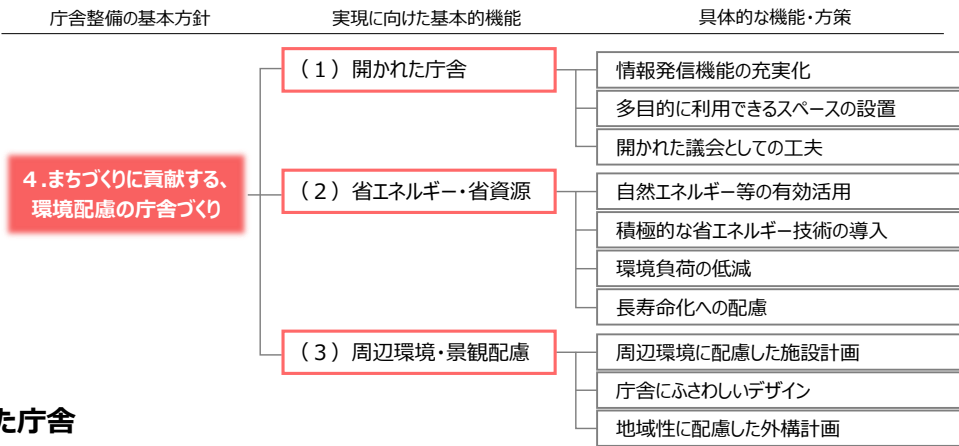
### 3. まちづくりに貢献する、環境配慮の庁舎づくり

170626 第 2 回職員WG 部会

170706 第 5 回庁内検討委員会

主な意見

主な意見



#### (1) 開かれた庁舎

##### ①情報発信機能の充実化

- 市民が利用しやすい場所に、各種行政資料や刊行物、観光案内等のパンフレットなどを閲覧できる情報コーナーを設置します。検索用 P C 端末やコピー機設置なども対応し、市民や来庁者が利用しやすい情報スペースとします。



【充実した情報コーナー】

##### ②多目的に利用できるスペースの設置

- 市民が気軽に立ち寄り、賑わいを生み出せるような多目的スペースの設置を検討します。多目的スペースは、ミニコンサートの開催や市民の交流イベント、展示などの催事にも使えることを想定します。
- 多目的スペースは、確定申告や選挙の期日前投票所など、繁忙期を含めた臨時的な活用も想定した計画とします。

選挙投票所として利用する場合は一定の広さが必要。確定申告対応は個人情報の観点よりこのスペースでは実施しない。



【多目的に利用可能なスペース例】

##### ③開かれた議会としての工夫

【議会を身近に感じられる工夫】

- 市民が分かりやすく、傍聴しやすい議場の配置計画とし、車椅子利用者の傍聴席など、動線や必要なスペースの確保を検討します。
- 議場については、閉会時などに多目的に利用できるよう、レイアウトを変更できる空間計画とします。家具等什器を可動式とするなどの工夫を検討します。
- 議会の活動内容が分かる図書・情報コーナーの設置や、ロビー等での議会中継の放映を検討します。



【傍聴席を収納でき多目的に使える議場】

【関連諸室の機能的な計画】

- 議場は、音響効果を考慮した空間性能や適正な広さを確保するとともに、I C T 化に対応した議会用会議システムを設置します。
- 委員会室や正副議長室、議員控室、議会事務局の事務室等は、適切な規模及び配置計画とします。



議会（本会議）利用時のレイアウト例



ステージ及び椅子のレイアウトによる講演会等の使用例



## （２）省エネルギー・省資源

### ①自然エネルギー等の有効活用

#### 【太陽光発電設備の導入】

- 新庁舎への太陽光発電システムを導入します。屋上などに効率よく発電できる太陽光パネルを設置し、玄関ホールなどで発電量がわかるモニターを設置するなど、自然エネルギー利用の「見える化」を行います。

#### 【雨水の有効活用】

- 屋根面における雨水を集水し地下ピット等を利用した雨水貯留槽に蓄え、トイレの洗浄水や植栽への散水などに有効活用し、水道使用量を抑える工夫を行います。

#### 【自然採光・自然通風の確保】

- 建物の平面形状や断面構成、開口部の工夫により、可能な限り自然採光や通風を確保し、照明や空調のエネルギー負荷を抑えた施設とします。

### ②積極的な省エネルギー技術の導入

#### 【高効率照明等の採用】

- 長寿命の高効率照明器具（ＬＥＤ照明）を積極的に採用し、消費電力の削減に配慮します。また、使用場所に応じた人感センサーによる照明点灯方式、執務室等の昼光制御システム、部分消灯が可能な照明計画などにより、照明電力の消費抑制を図ります。

#### 【省エネ効果の高い空調システムの導入】

- 空調システムは、最適な熱源システムの採用、夜間の安価な電力使用や負荷の平準化など、ライフサイクルコストの低減に配慮した計画とします。

#### 【断熱性の向上】

- 断熱性の高い外壁仕様や、開口部における高断熱性能ガラスの採用などにより、夏季や冬季における熱負荷を軽減し、空調エネルギーの消費量を抑制します。

#### 【日射遮蔽】

- 庇の設置など、開口部における日射抑制方策なども検討し、夏季の昼間において室内温度の維持に貢献できる計画とします。

### ③環境負荷の低減

#### 【自然材料・再生資源の利用】

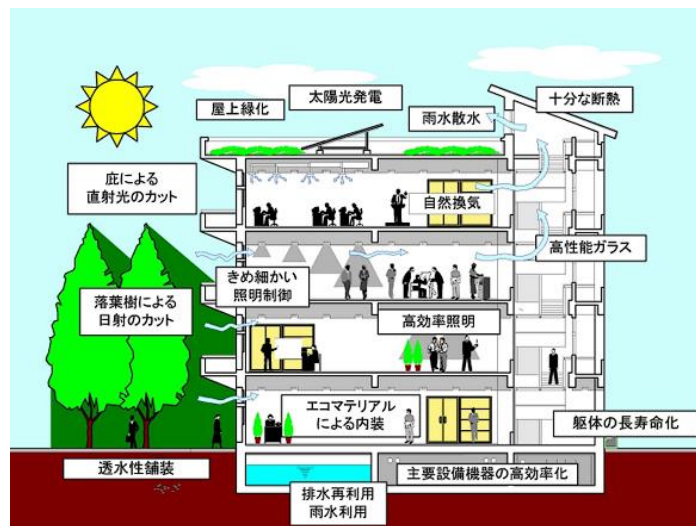
- 庁舎整備においては、環境負荷の少ない自然材料等（エコマテリアル）の採用や廃棄物等の再資源化を促進します。

#### 【電気自動車充電設備】

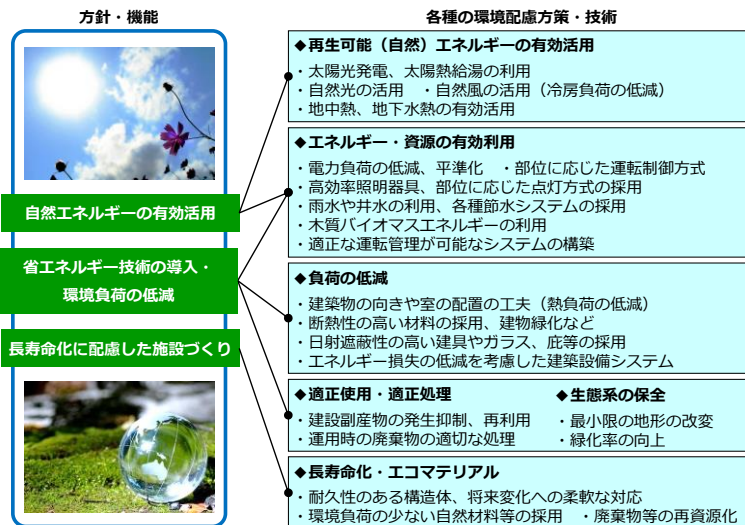
- 駐車場に電気自動車用の充電設備を設置し、環境負荷の低減に貢献する計画とします。



【充電設備の庁舎設定例】



【庁舎建物の環境配慮方策/国交省資料より】



【環境配慮・長寿命化の各種方策】

### ④長寿命化への配慮

- 環境配慮の視点から、建物の構造体は長期耐久性を確保するとともに、将来変化にも柔軟に対応できる空間可変性を確保し、長寿命性を重視した施設とします。
- 各種方策や技術の導入にあたっては、国による環境保全に関する基準などを参考に設計段階で費用対効果の検討を行いながら、環境にやさしい庁舎を目指します。

## （３）周辺環境・景観配慮

### ①周辺環境に配慮した施設計画

- 建設場所の敷地条件や施設規模に応じて建物配置や平面計画の検討を行うとともに、建物ボリュームや外装材のデザイン・屋根形状の工夫を行うなど、周辺環境も踏まえた庁舎デザインを検討します。

### ②庁舎にふさわしいデザイン

#### 【シンプルな外観デザイン】

- 新庁舎は、市のシンボルとして庁舎用途にふさわしい外観とし、華美なデザインを避け、機能美が現れるシンプルなデザインを目指します。

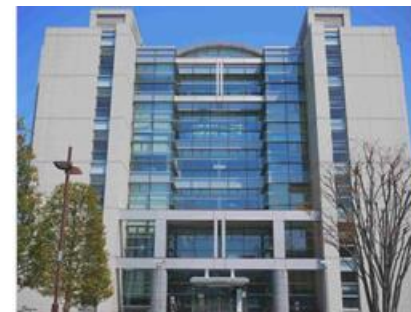
#### 【親しみやすく暖かみのある内部デザイン】

- 機能性や快適性に配慮した内部空間とし、内装や家具に木質系仕上を採用するなど、親しみやすいデザインを検討します。

＜庁舎事例にみる外観デザインパターン＞



建物ボリュームを段状に工夫した事例  
／木津川市庁舎（京都府）＊



ガラスカーテンウォールで正面性を演出した事例／あきる野市庁舎（東京都）



庇（バルコニー）と柱によるグリッドで立面を構成した事例／みよし市庁舎（愛知県）＊



各階の庇により水平ラインを強調した事例  
／紀の川市庁舎（和歌山県）＊

### ③地域性に配慮した外構計画

#### 【自然環境に合った外構計画】

- 大和高田の地域特性を踏まえ、地域の環境に見合った外構・植栽計画とします。市民の憩いの場となる空間などに、四季の風情が感じられる樹木を植栽するなど、屋外空間の機能や設置場所を踏まえ、緑による効果や植生、生態系を考慮した緑化計画とします。



【地域資源・緑化イメージ】



県や高田の地域産材をポイント的でも積極的に使うなど、地産地消をアピールしていくことも考えられる。